声 厂かけ

運動応援協定締結団体

DVDを作成するとともに、みん

いくため、

聴覚障害者にかかる啓発

障害者に対する支援事業の3つの柱の 害者の福祉に関する研修事業、③身体 福祉に関する普及啓発事業、②身体障

もとに事業展開を図っていくこととし

らは新しく令和の時代が始まります。

-成の時代が4月で終わり、5月か

今年度、当協会は、①身体障害者の

E 迎え 7

公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会

理 事 長 和 田

修

進員研修交流会をさらに充実させて の出前講座やみんなの声かけ運動推 いくこととしています。

平

②身体障害者の福祉に関する研修事業 修会の内容をさらに充実させてまい 識の習得をめざして実施している研 技術や障害者福祉制度等に関する知 象として、相談に応じるための知識 では、毎年、 たいと考えています。 身体障害者相談員を対

①身体障害者の福祉に関する普及啓発

事業では、兵庫県障害者福祉大会を

11月30日(土)に八鹿文化会館で実

3 身体障害者に対する支援事業では、 災害による悲劇を繰り返さないため 図るため、障害者スポーツ振興事業 身体障害者の社会参加活動の促進を らに充実させていくとともに、 定車標章の交付にかかる支援)をさ グ倶楽部への加入や駐車禁止除外指 大会)や外出支援事業 (グランドゴルフ大会・ボウリング 制の整備を図っていくとともに、 引き続き災害時の要援護者支援 (JRジパン 自然

なども含めて、

また、障害のある人だけでなく、

妊

小さな子ども連れの方 街中で困っている人

[体を表彰することとしています。

障害者福祉に貢献した個人・

なの声かけ運動」をさらに展開して がいたら声をかけて助け合う「みん

> 2丁目1番1号 す事業にも取り組んでいくこととし を向上させ、 新たに障害者の自助

早期避難の徹底等を促

力

(防災意識)

行

和田 発行人 ています。

神戸市中央区坂口通 兵庫県福祉センター6階 TEL 078-242-4620 FAX 078-242-4260

公益財団法人 兵庫県 身体障害者福祉協会

発

努力してまいりたいと考えていますの 体障害者の福祉の充実・向上に向けて ますようお願いいたします。 いずれにしましても、 なお一層のご支援とご協力を賜り 今年度も、

成 30 年 度 浜庫 温スポ I ツ 優秀選手賞表彰式に 7 11 7

手賞表彰式」が開催されました。 アリーナ(兵庫県立文化体育館) で「平成30年度兵庫県スポーツ優秀選 いて兵庫県・兵庫県教育委員会の主催 平 -成31年2月13日 (水)、 神 戸常 にお 盤

者よさこい教室に平成23年から参加 成22年三田市社会福祉協議会で障害者 庫県障害者スポーツ協会から「障害者 を支え、年間10回以上各地域の事業に スポーツ教室として始まった知的障害 スポーツ功労賞」が送られました。 る八十川一三さんに、公益財団法人兵 で、兵身協では評議員もされておられ 加するなど会長として現在もチー 三田市身体障害者福祉協議会会長 自身も肢体障害を持ちながら、 よさこいチームきらら ム輝笑~きらら~)としてチーム (よさこい 平

> ポーツ指導員の資格を生かし、障害者 テーブルテニス)の審判や、 から視覚障害者卓球競技 をまとめておられる。 スポーツの推進に大きく貢献して が受賞理由です。 また、 (サウンド 障害者ス 平成





平成31年度兵庫県の障害者福祉施策に

5 ょうご障害者福 祉計 画 の実現に向けた障害者 福 祉 0) 推

進

兵庫県の障害者福祉施策

平成31年度主要施策予算の概要

I生活基盤作り 57,647,870千円 Ⅱ教育・社会参加 406,834千円

Ⅲしごと支援 Ⅳくらし支援

4,110,690千円 115,086千円

781,797千円

V安全安心

【新規】盲ろう者の社会参加促進事業

施策、拡充施策について抜粋し掲載し 身体障害を持つ方に関わりのある新規 ております。 多くの事業の中から特に兵庫県内の

兵

生活基盤作り

【拡充】相談支援・障害福祉サービス の質の向上に向けた人材養成 事業 (26,236千円)

研修、市町の相談支援体制の整備に対 する相談支援専門員やサービス管理責 任者等の養成研修や能力向上のための して支援等が行われます。 障害者に対する相談支援事業に従事

町における相談支援体制の整備支援 ○受講見込者数3,410名 ()市

> 【新規】ひょうご障害者福祉計 策定 (3,939千円)

害福 2023年)が策定されます。 (2021年~2026年)、第6期障 境や支援ニーズの変化を踏まえた見直 国指針に基づき、障害者を取り巻く環 を行い、新たに障害者福祉計画 障害者基本法や障害者総合支援法 祉推進計画(2021年

学校への出前講座や盲ろう者の社会参 盲ろう者への理解促進を図るため、 (109,384千円)

П 教育・社会参加

加促進研修が実施されます。

リートの発掘・育成・強化と拠点等の 2021関西に向け、県内障害者アス 会とワールドマスターズゲーム 【拡充】障害者スポーツ推進プロジェ 東京2020パラリンピック競技大 クト (40,935千円)

新規 一新たな障害者スポーツ施設と して、ひょうご障害者総合ト が整備されます。 レーニングセンター (仮称

環境整備が行われます。

新規 兵庫県障害者芸術文化支援事 (1,353千円

画等の ${\rm I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$

しごと支援

【新期】障害のある人を対象にした県 の非正規職員の採用が行われ

望者の人材バンクが設置されます。 【拡充】 ワークセンターの設置 臨時的任用職員又は非常勤講師の

IV くらし支援

リンピック、ワールドマスターズゲー を支援するとともに東京2020パラ 際義肢装具協会(ISPO)世界大会 ム2021に向けたパラスポーツの普 【新規】国際義肢装具協会(ISPO) 2019年10月神戸で開催される国 世界大会2019支援イベン トの開催(19,525千円)

【拡充】手話普及に向けた各種講座の 開設 (21,754千円

及イベントが開催されます。

催されます。 及に向け、県民向けの手話講座等が開 聴覚障害者への理解促進と手話の普

【新規】生活点字普及促進事業

援センターが設置されます。 踏まえ、新たに障害者芸術文化活動支 障害者文化芸術活動推進法の施行を ため点字の普及を促進し、 視覚障害者の情報取得等を促進する

 $\widehat{1}$

408千円

支援者の養成が行われます。

弱視者等の

【新規】企業等への情報配慮支援事業

(2,500千円)

聴覚障害者の社会参加を促進するた

【拡充】障害者人材バンクの新設

以上のイベント)を開催する際、

団体・企業が主催行事

(300人

配慮に要する費用の1/2程度を補助

する事業が実施されます。

を対象にした特別選考」が実施され 教員採用試験において「身体障害者 希

V

安全安心

【拡充】災害時要援護者対策事業 (21,637千円)

画作成モデル事業が実施されます。 【新規】高齢者・障害者自助力 防災と福祉の連携による個別支援計 (防災

意識) 強化事業

ます。 防災研修や防災関連事業が行わ 任命され、早期避難の重要性を啓発し、 を向上するため、防災対策を率先する 防災ピアリーダー」が圏域単位等で 高齢者・障害者自助力(防災意 れ

【新規】夜間・休日における手話通 者派遣依頼への対応 訳

(3,000千円)

手話通訳者の派遣依頼に対応できる 療機関への緊急搬送や受診等に際し、 コーディネート体制が構築されます。 夜間 ・休日における聴覚障害者の医 を活発に展開されておりますが、

障害

WIND THE PROPERTY OF THE PROPE

51

者の自立生活と社会参加をさらに促進

報告がありました。

各団体とも、

社会参加に向けた事業

実施状況や来年度の取組等につい

等が行われました。

者の社会参加に向けて活発に情報交換

、関係部局2の15団体が参加し、

障害

今年は、当事者団体12、支援団体

1

五乙 成 30 年 度 **の** 障 害 者 社 会 参 加 推 進 協 議 会を開 催 ま

害者社会参加推進協議会を開催しま 祉センターにおいて、 成 31年2月 15 日 平 (金)、 -成30年度の障 兵 庫 県

が必要ではないかと思います。

13

に連携して事業を展開していくこと

7

いくためには、

今後、

さらにお

耳.

L

た

進するために、 地域における自立生活と社会参加を推 社会づくりに向けて、 庭や地域で明るく暮らすことができる 害の有無にかかわらず、 支援団体、 る様々な社会参加促進施策を実施し、 この協議会は、障害者の当事者団 県の代表が一堂に会し、 毎年開催しているもの 障害者自らによ だれでもが家

収益

理 とご協 力を

きながら、収益事業(カタログ回覧に 障者団体へ分配しております。 してご活用いただくため、県と市 よる物品販売)を行っています 害者福祉協会と連携し、 7体障害者福祉団体のご協力をいただ 部は、障害者福祉事業の活動資金と 皆様のご協力で得られた売上収益 H 身連収益事業所は、 県内各市町の 兵庫県身体障 町

(通称:日身連収益事業所) 話 本身体障害者団体連合会収益事業所 のご理解とご協力をお願い申し上げ 0 $\begin{array}{c} 1 \\ 2 \\ 0 \end{array}$ $\frac{2}{6} \frac{3}{3} - \frac{3}{3} \frac{2}{3}$ 大阪支所

がありました。

そのあと、当事者団体と支援団体か

社会参加にかかる今年度の事業の

新規事業や拡充事業を中心として説明

兵庫県障害者福祉施策の概要、

特に、

今後とも引き続き「日身連収益事

業

ニバーサル推進課から、

平成31年度の

まず初めに、兵庫県障害福祉課とユ



(毎週火・木曜日13:00~16:00)

木曜日は兵庫県弁護士会の自主事業として実施しています。 ※祝日・年末年始を除きます。



差別や虐待、悪徳商法、財産管理等々。法律に関わる問題について困っていることは ありませんか?皆様のお悩みに、弁護士と福祉専門職(社会福祉士・精神保健福祉士等) が三者同時通話システムを使って無料でご対応します。

②家族や支援機関の職員 相談対象者:①障害者(本人) ③行政機関の職員

④障害者雇用の企業担当者等

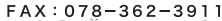
電話:078-362-0074

FAX: 078-362-0084

※法律的な観点からの助言を行うものであり、差別事案等の解決まで保証するものではありません。 ※ファクスにつきましては、回答文書作成等のために時間を要することがありますので、あらかじめ ご了承ください。

※この法律相談は高齢者向け相談と併せて実施しています。

TEL: 078-362-9104 兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課 【お問い合わせ先】



































第11回兵庫県障害者芸術・文化祭

まし

た

公募展が開催されました。 兵庫県立美術館において美術工芸作品平成31年3月1日 (金)~3日 (日)、

兵庫県身体障害者福祉協会理事長賞には、大槻小百合さんの絵画「光の中の二人」が選ばれました。この作品は、すいすに乗る男性と介助する女性が描すれており、とても明るい色彩の中でお二人がほほ笑む、優しさあふれる作おです。



理事長賞受賞作品「光の中の二人」

本査員の先生方からのご意見では、本本員の先生方からのご意見では、大いに楽しませてくれました。独自のちを込めた作品の数々で見る側としてちを込めた作品の数々で見る側としておっとも出展数の多かった絵画の部でもっとも出展数の多かった絵画の部でもっとも出展数の多かった絵画の部でもっとも出展数の多かった絵画の部では、

いってほしい。期待しています。」ありました。自分の想いを第三者に伝える方法の一つに絵画があります。これからも自己選択、自己決定の積み重ねを大切にして、自分の個性や魅力をねを大切にして、自分の個性や魅力を

また、書道の部では、「伸びやかで自由に楽しんでいる作品が数多くあり自由に楽しんでいる作品が数多くありました。書道は文字を筆で、しかも墨色という決まりの中で表現します。したしていけば、作品の魅力は今後さらに増していくものと思います。会場が大きしていけば、作品の魅力は今後さらに増していくものと思います。会場が大きしていけば、作品の魅力は今後さらに増していくものと思います。会場が大きしていくものと思います。会場が大きしていくものと思います。会場が大きしていけば、作品の魅力は今後さらに増していくものと思います。と場が表しています。

写真の部では、「作品数が少なくて写真の部では、「作品数が少なくてたのか意図がしっかり伝わるものが選だのか意図がしっかり伝わるものが選だれました。写真は、もっと見たもの、そして感じたものに素直な心でシャッそして感じたものに素直な心でシャッそして感じたものに素直な心でシャッをして感じたものに素直な心でシャッをして感じたものに素直な心を表現しています。」

作品が多 とるような



作品公募展会場風景

ています。」と講評いただきました。
ています。」と講評いただきました。
入賞作品には自由な発想、大きく粘り強い創作のもの
品が少なく、同一のパターン化した作品が多かったのは少し残念でした。い
るいろな素材を使って立体的に構成
し、より個性的な表現の作品を期待し
ています。」と講評いただきました。

おります。
おります。
おります。
おります。
おります。
おいて、ただき、会場に負けない伸びにしていただき、会場に負けない伸びにしていただき、会場に負けない伸びに出ていただき、会場で3月上旬頃に開来年度も同じ会場で3月上旬頃に開

心からお礼を申し上げます。

正尽力くださいました関係者の皆様に出品者はもとより、公募展の開催に

ज修交流会を開催しましたみんなの声かけ運動」

けて地域別に5回開催しました。 交流会を、昨年12月から今年2月にか 声かけ運動推進員を対象とする研修

> √で。 フデザインから講師をお招きしまテーマとして(一社)ヒューマンライテーマとの方への声かけと支援」を

今年度に作成したDVD「下肢に障害のある方への声かけ」を視聴した後に、車いすユーザーの竹村美紀子氏のに、車いすユーザーの竹村美紀子氏のに、車いすを開体験をしていただきました。 普段、車いすを押すことはあっても、 自分が乗ることはほとんど無いので、 参加者からは「車いすに乗って自分で 参加者からは「車いすに乗って自分で 大変だと分かった」「車いすに乗って押してもらったが怖かっない。

ます。 修のねらいを伝えられたと自負してい解することこそが大切であるという研ら、車いすに乗っている方の気持を理ら、車いすを押す技術もさることなが

) こ。 員の皆様、本当にありがとうございま 寒い中、ご参加くださいました推進

地域名	開催日時・場所
但 馬	12/1 (土) 14:00~16:00 県立丹波の森公苑 セミナー室
中播磨西播磨	12/8 (土) 14:00~16:00 姫路市市民会館 第1教室
東播磨北播磨	1/19 (土) 14:00~16:00 加古川市総合福祉会館301号室
神浴路	1/26 (土) 14:00~16:00 兵庫県福祉センター 203会議室
阪神南 阪神北	2/9 (土) 14:00~16:00 西宮市総合福祉センター 別館B1,B2